



# 大阪医科大学附属病院

(平成30年1月29日)

平均在院日数 33.5日

(平成29年12月31日時点)

## 積極的な取り組みなど

- リエゾン精神医療が積極的に行われていた。
- 患者から「ゆっくり話を聞いてもらえる」「この病院は数値だけでなく、他の事もいろいろ聞いて薬を決めてくれる。親との事情も配慮してくれる」等の声があった。
- 入退院支援室在中のPSW2名が主にこの病棟を担当していた。場合によってはさらに2名のMSWが関わることもある。

## 前回の訪問(平成25年11月)から改善されていた点、未改善点等

- 前回訪問時、病室前から、病室内のベッドに拘束帯が付いているのが見えたことについて、今回は、そのようなベッドは見られなかった。
- 今回も診察室はなく、診察は、患者の状態に合わせて、ベッドサイド・デイルーム・面会室等を使うとのことだった。
- 前回訪問時、閉鎖病棟では、ベッド毎の間を仕切るカーテンは、左右にあるのみで足元にはなく、ベッド全体を囲うものではなかった。今回は、足元にもカーテンが設置されていた。

## 病院全体

病院全体で882床あり、うち精神科が60床だった。精神科病棟数は1病棟であるが、開放病棟部分と閉鎖病棟部分が扉で分けられていた。施錠されていない扉を入ると、まず開放病棟20床があり、奥の施錠された扉を入ると閉鎖病棟40床があった。開放病棟17床・閉鎖病棟3床の合計20床が休床中だった。

順次病棟の建て替えを行っていく予定があり、精神科のある建物は2027年に完成予定とのこと。そのため、ハード面の大きな改修等は予定していないとのことだった。

身体合併症の場合同じ病院内の他科から受け入れることもあるとのこと。身体合併症治療や電気けいれん療法(ECT)のために、他病院から転院してきた患者もいるそうだ。

看護師は女性が多く、体力的に対応が難しいので男性患者をあまり受け入れておらず、女性の入院患者が多いとのことだった。

## 意見箱

意見箱は、正面玄関や病棟内のデイルームに設置されていた。投書は、週1回サービス課の担当者が回収し、該当する病棟に振り分け、検討し、回答を掲示するとのことだった。

## 金銭管理

ベッド横の床頭台には鍵付きロッカーがあった。病院に預ける場合、管理費は無料。病棟入口付近に事務所があり、そこで出金する。

## 診察・薬

担当医は、指導医1名・その他医師1名・研修医1名の3名体制だった。患者から「主治医と研修医の合計3人で担当してくれるので、誰かには話ができる」との声があった。薬は職員が病室を回って配薬する。3割が自己管理しているとのことだった。



## 電話・面会

公衆電話は、詰所から離れたデイルームの奥に設置され、囲いがあり椅子が置かれていた。携帯電話は詰所に預ける。詰所前でメールやラインのチェックはできるが、返信も含めて送信はできない。

面会時間は13:00-20:00。面会室は閉鎖病棟内に1つあり、希望があれば使用できるが、主にデイルームや院内の喫茶店などで行われていることが多い。

## 入浴・洗濯

入浴は9:00-16:00に週4回。洗濯機と乾燥機があり、使用料は無料だった。使用可能時間は8:00-16:00。

## 外出・売店

院内にコンビニがあり、営業時間は7:00-22:00。閉鎖処遇の患者は、火・金曜日の13:00-16:00に看護師や研修医が同伴でコンビニに行く。カロリー等の制限がある患者もいるため、同伴者が確認しながら買物をしてもらっているとのことだった。訪問時は、7割の患者が同伴外出中とのことだった。患者2~3名ずつで外出するので、看護師は何往復もしているとのことだった。

## リエゾン精神医療

1日に5~10件、他科からの依頼で診察をする。他の病棟からの協力依頼があれば、すぐに医師を割り当て、また、精神科の垣根を低くするために、積極的に院内勉強会に出席して連携を図っているとのことだった。

## 退院支援等

9割の入院患者に担当PSWが付いており、PSWが付いていない患者は、患者本人の力で退院可能なため、不要と判断したという説明だった。患者の退院先は約7割が自宅・2割が転院・1割が施設とのことだった。

医療保護入院者退院支援委員会の退院後生活環境相談員はPSW。短期間の入院がほとんどのため、平成29年にこの委員会を開催した患者は2

名のみで、本人や家族にも同席してもらい開催したとのことだった。

## 病棟の様子

### 閉鎖病棟 男女 特定機能病院10:1 40床

デイルームは広く、テーブルが9台と左右に長椅子、テレビが1台置かれていた。面会中の患者や看護師と話している患者、入浴後に髪を乾かしてもらっている患者もいた。

給茶機は置かれていなかったが、設置を検討しているとのことだった。掲示板には「茨木市障害者地域自立支援協議会」と「地域移行（退院・退所サポート）のご案内」のポスターが貼られていた。詰所前には月水金曜日の昼夕食の選択メニューが掲示されていた。

## 病室

3・6床部屋があった。入口ドアは、大きく開け放たれていたが、ベッド周りのカーテンが閉められており、中の様子は見えない。病室の入口に患者名の表示はなく、ベッド横に書かれていた。

## 隔離室

詰所内に2室。集音マイクとモニターカメラがあった。患者の入室時に、モニターカメラがあるがプライバシーに配慮しているとの説明をし、同意のサインをもらっている。患者が説明を受けられない状態の場合、家族に説明し、同意のサインをもらうとのことだった。

## 患者の声

「診察はデイルームか病室です」「生活保護を受けていて、入院が1ヶ月以上になると困るので、ケースワーカーに相談している」「友達がお見舞いに来てくれた時は、病院内のコンビニかドトールコーヒーに行く。ドトールコーヒーがあつて嬉しい」「デイルームに居ると誰かとお喋りが出来るので嬉しい」「担当医は日曜出勤や夜勤の時、様子を見に来てくれる事もある」「入浴は週3回している。外出は週2回院内のコンビニまで看護師と行く。お金は預けていて出金は400円の時と500円の時がある。ロッカーの鍵は自分で持っている」「今日



退院する」「看護師は優しい。薬は部屋に持ってきてくれる」「○病院に10年、△病院に10年入院していた。ここの食事は美味しい」

### 開放病棟 男女 特定機能病院10:1 20床

個室が3室あり、現在はこの3室のみ使用している。認知症の検査入院の場合に使用することだった。本人が希望する場合や検査入院の場合は室料差額料金が発生し、6,480円/日かかる。室内には洗面台・床頭台・テレビ・椅子があった。

### 検討していただきたい事項

#### 意見箱の回答について

訪問時、意見箱の回答は掲示されていなかった。職員からは「最近、投書そのものがない。意見箱の回答は病院全体の規定として掲示されてから2週間で取り外すとなっているので、投書がない場合ずっと掲載がない状態になる」との説明を受けた。(病院：掲示されてから2週間で取り外すことは、院内の規定に則って行っており、当科の判断で行っているものではありません。しかし、再考する必要性はあると思われますので、当該部署に報告させていただき、検討させて頂きたい。)

#### 精神保健福祉資料より(平成28.6.30時点)

39名の入院者のうち、気分障害が19名(49%)、統合失調症群が12名(31%)、認知症など症状性を含む器質性精神障害が3名(8%)。入院形態は任意入院27名(69%)、医療保護入院12名(31%)。在院期間は1年未満が39名(100%)。



クリック

ほぼは 大阪府内の精神科病床のある  
全病院への訪問活動の報告です。

210ページの  
のうち 192ページ

認定 NPO  
大阪  
精神医療  
人権センター  
30周年

A4 サイズ/210 ページ  
2,000 円

この本の使い方はいろいろ

- 「大阪府内の精神科病院の情報を知りたい」
- 「病院訪問活動の視点を知りたい」
- 「実習前に精神科の療養環境について知っておきたい」
- 「自分の勤務する病院を見つめなおしたい」

目次

- ・大阪における精神科病院への訪問活動のうつりかわり
- ・療養環境サポーター制度について
- ・各病院の訪問報告
- ・各病院の職種別職員数一覧表
- ・精神科病院訪問ボランティアへのインタビュー
- ・入院中の精神障害者の権利に関する宣言



療養環境サポーター  
最新報告

## 人権センターニュース毎号2病院掲載中

### 入会やご寄付のおねがい

私たちの財政的基盤の中心は「会費」や「寄付」となります。活動を維持し、充実させるためには、皆様からの支援が必要となります。



電話・面会相談では相談者の方からお金を頂いておらず、訪問活動（療養環境サポーター制度）でも大阪府等から委託費用の支払はありません。特に面会活動の拡充のためには、交通費（1回2,000円～4,000円／2名分）や複数の事務局スタッフの人件費（年間約500万円）が必要となります。

### 会費・寄付の申込と支払方法

ご寄付もいつでも受付けています。

会員種別  
年会費

賛助会員	
障害者	1,000 円
個人	3,000 円
団体	5,000 円

特別協力会員  
& 寄付  
大募集

特別協力会員	
A	10,000 円
B	30,000 円
C	50,000 円

#### 会員特典

人権センターニュースの送付 2か月に1回 年間6冊

人権センターニュースは、「声をきく」ことを重要な価値観とする私たちだからこそ発信できる情報が盛りだくさんです。また、病院訪問報告書も毎号2病院掲載しており、大阪府内の病院の療養環境の改善状況等を知ることができます。当事者・家族の皆様だけでなく、精神科病院に勤務する皆様や地域精神医療保健福祉にかかわる皆様にも必見です。

メルマガ配信 1か月に1回から2回

精神医療及び精神保健福祉にかかわる最新ニュースや私たちの講演会・セミナー情報をいち早くお知らせします。

活動参加のための情報提供

面会活動だけでなく、講演会の企画・運営や広報誌・SNSによる情報発信のサポート等いろいろな形で参加できます。

※面会活動は養成講座の受講が条件となります。



#### 寄付特典

ご寄付をしていただく場合、確定申告によって『税額控除』を受けることができます。

#### 税額控除とは？

※確定申告は最寄りの税務署にて相談ください。

※大阪府（堺市を除く）に在住の方は、地方税分も控除されます。

※控除には限度額があり、実際の税額はケースにより異なります。

寄付金 1 万円の時

所得税額 -3,200 円

実質負担 6,800 円

寄付金 5 万円の時

所得税額 -19,200 円

実質負担 30,800 円

10,000 円のご寄付で、2～3名の面会が可能になります。

郵便払込	口座番号 00960-3-27152 加入者名 NPO 大阪精神医療人権センター
銀行振込	三井住友銀行 南森町支店 普通 1485805
現金	講演会会場・事務所にて
クレジットカード	ウェブサイトのみに



こちらより申込書をダウンロードできます

検索 大阪精神医療人権センター  
<http://www.psy-jinken-osaka.org/>

入会・寄付は WEB でも手続きできます。

クリック

## 認定 NPO 法人大阪精神医療人権センター

お問い合わせ

〒530-0047 大阪市北区西天満 5-9-5 谷山ビル 9F

TEL 06-6313-0056 FAX 06-6313-0058 メール [advocacy@pearl.ocn.ne.jp](mailto:advocacy@pearl.ocn.ne.jp)